

田辺鶴英 × shuko

ピアノと講談

田辺鶴英
講談師

2023年

6月26日(月)

開演 13:00 / 開場 12:30

11月29日(水)

開演 13:00 / 開場 12:30

shuko
音楽家

お江戸両国亭

■出演 田辺鶴英 shuko 田辺一記

(出演者は変更する場合があります。予めご了承下さい。)

■木戸銭 当日 3,000円 前売 2,500円

ご予約・お問合せ ☒ koudan.kakuei@gmail.com ☎ 03-3399-9168 (鶴英)

主催: 田辺企画事務局 写真: ヤナガワゴーツ! 音響: 波動スピーカー (株)フォーチュン

田辺鶴英 × shuko

2023年

6月26日(月)

開演 13:00 / 開場 12:30

11月29日(水)

開演 13:00 / 開場 12:30

ピアノと講談

お江戸両国亭

■出演

田辺鶴英 shuko 田辺一記

(出演者は変更する場合があります。予めご了承下さい。)

■木戸銭

当日 3,000円 前売 2,500円

田辺鶴英
講師(真打)

1955年11月22日北海道函館市生まれ。地元小中学校卒業。札幌藤女子短期大学別科卒業。19歳のとき母が死亡。心の空白を埋めるためインド・インドネシア・沖縄に旅立つ。帰国後、陶芸家、草間彌生助手。女優を目指すも、成就せず断念。夫と出会い結婚、出産、子育ての後、義母が倒れ3年間の介護。義母の死後、1990年9月、夢の中に田辺一鶴が出現。一ヶ月後、新聞に田辺一鶴の「講談修羅場道場開講」の記事。「これだ!」と心を揺さぶられ飛んで行く。2005年認知症義父を在宅介護、2011年に在宅看取り。三度の介護の実体験を元にした『介護講談』は大好評で、日本全国で講演を行っている。2016年には実演を収録した『田辺鶴英の「介護講談」』として熊鷹堂により映画化。同作品は2017年5月「田辺鶴英の『介護講談』」がジャパンフィルム・フェスティバル In LA 2017でベスト・ドキュメンタリー賞を受賞。

shuko

音楽家

津軽出身。国立音大卒業後、ピアノ・電子オルガン講師、作曲、編曲。歌、笛、太鼓、わらべ歌、大道芸、朗読など、たくさんの表現者と出会い音を重ねる。現在はパフォーマンスピアノ連弾「しゅみりいず」、弾打歌ユニット「あどはだり」に加え、豊島区、志木市の音楽講座講師。タップダンスとピアノを一人やるタップピアノを模索。ほか「返事のいらぬおたよりを毎日送ります」企画や「ミラクルハット製作」を行っている。

ご予約・お問合せ メールまたはお電話でお申し込みください

✉ koudan.kakuei@gmail.com

☎ 03-3399-9168 (鶴英)

※ マスク着用、検温、手指の消毒にご協力をお願い致します。

※ 体調不良の方はご来場をお控え下さい。

※ 座席数は政府のガイドラインに沿って開催致します。



お江戸両国亭 〒130-0026 東京都墨田区両国4-30-4 両国武蔵野マンション1F